

電波時計（ベル音目覚まし時計）取扱説明書

～ 製品の特長 ～

- 標準電波を受信して正しい日時に自動修正
- 目覚ましベル音の大／小を選択できます

お買い上げいただきありがとうございます。
お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになった後もお手元に保管して、必要に応じてご覧ください。

発売元 **リズム時計工業株式会社**

〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番12
http://www.rhythm.co.jp

CITIZENはシチズンホールディングス株式会社の登録商標です。

(Y1204)

※印は販売店記入

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。

●修理部品の保有について

この時計の修理用性能部品（電子回路など）は製造打ち切り後、3年間を基準に保有しています。ただし、外装部品（ケース類）の修理には、類似代替品の使用または現品交換で対応させていただくことがあります。

●修理可能期間について

無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料修理が可能です。ただし、修理には販売店と修理工場の往復運賃・諸掛り費用も加わり、商品により修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

●転居または贈答品の場合

お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、お客様相談室にご相談ください。保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。

お問い合わせ先 **お客様相談室 0120-557-005**

（フリーダイヤル）
受付時間 9:00～17:00（土日、祝日および当社休日を除く）

お問い合わせに際しては、製品番号（型番）「8RZ132」をお伝えください。

安全にお使いいただくためにはじめにお読みください

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

図記号の説明

- ⊘は、禁止（してはいけないこと）を示しています。
- Ⓜは、指示する行為を必ずすることを示しています。

警告 死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容

必ず守る
誤飲を防止するため、小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かない
万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

禁止
電池からの液もれや発熱、破裂を防止するために、次の事を守る
●電池に傷をつけたり、分解したりしない。
●電池をショートさせない。
●電池を充電しない。
●加熱したり、火の中に入れてたりしない。

⊘ 電池からもれた液に素手で触れない
●目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療をうけてください。衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する危険性が高くなります。
●もれた液に直接触れないでください。ゴム手袋をして電池をはずし、もれた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときは、お買い上げの販売店または当社お客様相談室にご相談ください。

注意 傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される内容

必ず守る
電池の⊕⊖を正しく入れる
逆向きに入れると液もれ、発熱、破裂により故障やけがの原因になります。

禁止
強い振動や衝撃を与えない
故障や破損の原因になります。

禁止
下記のような場所では使わない
品質や精度の低下、部材の変形、劣化、故障の原因になります。

- 直射日光が当たる所。
- 温風ヒーターなど乾燥した風が当たる所。
- 温度が+50℃以上の所。
- 温度が-10℃以下の所。
- ほこりが多く発生する所。
- 強い磁気が発生させる機器のそば。
- 車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
- 温泉やプールなどガスの発生する所。
- 多くの油を使用する所。（調理場など）
- ゴムや軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、色移りや付着、変質をすることがあります。

お手入れについて

- 汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ケースなどのよごれ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。

電池・製品の廃棄

- お住まいの地区自治体の指定に従ってください。
- 電池と時計を分別して廃棄してください。

静電気による誤作動について

静電気の影響により、正常に機能しなくなることがあります。このようなときはリセットボタンを押してください。

この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。
本製品を使用することによって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなんら責任を負いかねますのでご了承ください。

This product is intended for the Japanese market.
Service and technical support for this product are available only within Japan.

保証書

※品名・型番 8RZ132

※保証期間 お買い上げ 年 月 日より 1年間

お客様 氏名

住所

TEL () -

※販売店印（所在地、店舗名、電話番号）

取扱説明書にそった正常な使用状態において、万が一保証期間内に故障がおきた場合、本保証書を添えて時計お買い上げの販売店にご持参ください。無料修理・調整いたします。尚、本保証書の発行によりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。この保証書は、お買い上げ店で発行いたします。必ず※印欄の記入・捺印をお確かめのうえ大切に保管してください。保証書は再発行いたしません。

- 部品の保有期間などアフターサービスについては、取扱説明書に記載してあります。
- この保証書は国内のみ有効です。This guarantee is valid only in Japan.
- ご記入いただきました個人情報は、時計の修理・調整に関するご連絡に利用させていただきます。

■販売店の方へ

この保証書は、お客様へのアフターサービスの実施と責任を明確にするためのものです。ただし、貴店で別に保証書を発行する場合は、この限りではありません。

保証について

■次のような場合には、保証期間中でも有料修理になりますので、ご注意ください。

- 保証書のご提示がない場合。
- 保証書の※欄に記入・捺印のない場合、字句を書きかえられた場合。
- お買い上げ店以外の販売店にご依頼の場合。
- お客様のお手元に渡ってからのお取り扱いや輸送での落下など異常な衝撃による故障または損傷。
- 天災・火災または異常な塩分・酸・蒸気・熱・有毒ガスなどの影響による故障、または損傷。
- お客様による修理・改造などが原因で故障した場合。
- ご使用中に生じる外観上の変化(ケース、ガラスなどの小キズ)
- 電池の交換 ※送料・出張料は、実費をいただきます。

電池のご注意（電池の正しい使いかた）

電池のご使用上のポイント 正しく使って事故をなくしましょう

- プラス（+）、マイナス（-）を間違えない。
- 古い電池と新しい電池を混ぜない。
- 種類の異なる電池を混ぜない。
- 動いていても定期的に交換する。
- 長期間使用しないときは電池を取り外す。
- 止まったらすぐに電池を取り外す。
- 電池に表示されている使用推奨期間内に使う。
- 電池を新しくするときは、全部取り替える。
- 幼児の手の届かない所に置く。

電池の種類について

●アルカリ乾電池とマンガン乾電池は形状的に互換性があり、一般にアルカリ乾電池のほうが長持ちします。

●一般に充電式の電池は電圧が低く、不向きですので使用しないでください。

●一部の高性能電池では、初期電圧が高く、不向きなものがあります。

（例：Panasonic オキシライド乾電池）

電池の寿命について

●付属の電池は、工場を出荷するときに入れていますので、製品仕様より短い期間で電池切れになることがあります。

注意 電池の交換 早めに交換して液もれを防ぎましょう

必ず守る
電池からの液もれにより、修理や家具などの修繕に費用が発生することがあります。電池からの液もれや発熱、破裂を防ぐために、次の事をお守りください。

- 液晶表示が薄くなったときには、速やかに指定の電池に交換するか、電池を取り出す。
- 古い電池と新しい電池、種類の異なる電池を混ぜて使用しない。
- 動いていても1年に1回定期的に交換する。
- 電池の⊕⊖を逆に入れない。

おもな製品仕様

使用温度範囲 -10～50℃（液晶表示可読温度範囲0～40℃）*結露しないこと

時間精度 標準電波受信成功直後の表示精度 ±1秒
標準電波を受信しない場合 平均月差±30秒（常温中のクォーツ精度）

使用電池 単3形アルカリ乾電池 JIS規格 LR6 2個

電池寿命 約1年 アラーム30秒/日（音量弱）、照明3秒/日 使用したとき

標準電波 標準電波を受信して日時を修正

受信局 福島局/九州局自動選択

受信回数 1日8回

受信開始時刻 1時～4時、13時～16時 各時間帯の16分40秒に開始

受信ON/OFF あり

アラーム機能 セットした時刻にアラームが鳴る

アラーム精度 表示時刻に対して±0秒

アラーム音 ベル音

スヌーズ機能 あり

オートストップ機能 あり

音量調節 2段階

カレンダー 2011～2099年対応

温度表示 -9.9～50℃

温度精度 ±2℃

湿度表示 20～95%RH 温度が5～50℃のとき（注）

湿度精度 ±10%RH

（注）湿度表示は相対湿度です。

空気のなかにどれだけ水蒸気（水が気体になったもの）があるかを示すものです。

単位体積当たりの空気に取り込める水蒸気の最大量は温度によって変わり、これを飽和水蒸気量といいます。この飽和水蒸気量と実際に空気に含まれている水蒸気量の比を百分率で表したものが相対湿度です。

単位は「%RH」ですが、天気予報など一般的には「%」で表示されることが多いです。

※液晶はその特性上、0℃以下になると表示反応が遅くなり、表示が薄くなる場合があります。40℃以上になると表示が濃くなり、ムラに見えることがあります。

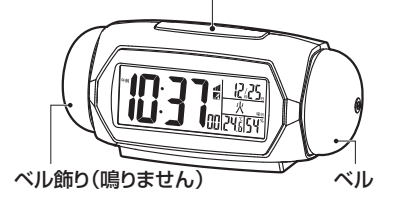
※液晶表示板は5年を過ぎると、コントラストが低下して数字が読みにくくなる場合があります。

※製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

付属品 単3形アルカリ乾電池 2個 取扱説明書・保証書 本書

図は操作説明用ですので実際の商品と異なることがあります。

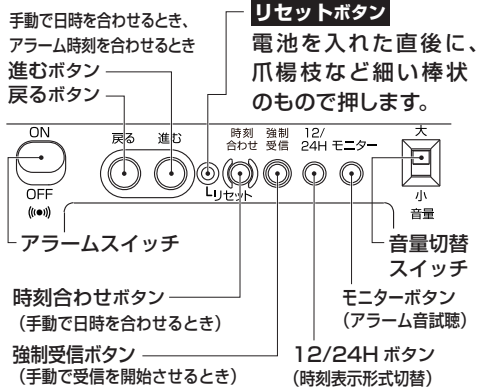
(正面) スヌーズボタン/ライトボタン兼用



時計正面より見てください。液晶は見る方向により薄くなったり、ムラになったり見えます。

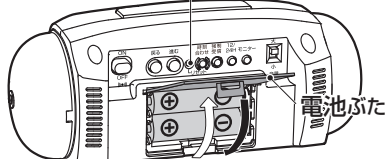
曜日表示 曜日により表示位置が変わります。

(裏面操作部)



1 電池を入れて、標準電波を受信して日時を合わせる

(裏面) リセットボタン



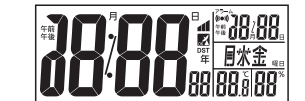
開く 閉じる

電池を入れる

- 電池ぶたを開く。
- 電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて、単3形アルカリ乾電池を2個入れる。
- 電池ぶたを閉じる。

【受信の流れと表示】

〈リセットボタンを押した直後〉



〈受信開始〉



受信マーク (受信中点滅)

電源投入直後およびリセットボタンを押した直後は、2011年1月1日 午前12:00、アラーム時刻 午前6:00に設定されます。

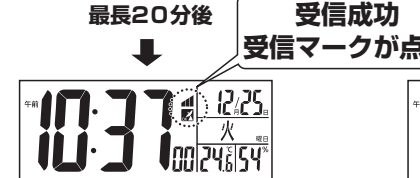
受信マークの変化 (電波サーチ機能)

電波の状態により変化します。

受信できない 受信しやすい



〈受信終了〉 最長20分後



(受信に成功したときの表示例)

- 受信マークは受信成功後、24～25時間点灯。
- 受信に成功しても、電気的なノイズにより誤った日時を表示することがあります。このようなときには、場所を変えてリセットボタンを押して再度受信を試みてください。

標準電波を受信できない場合

- 朝までそのまましておく
一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、手動で時刻合わせをして一晩そのままにしておくと受信できる可能性が高くなります。
- 場所を変える／受信をやり直す
電波の受信しやすい窓ぎわで取扱説明書の日本地図を参考にして、電波の送信所に時計の正面または裏面が向くように置き直し、リセットボタンを押して結果を確認します。

標準電波を受信できないときには、手動で日時を合わせて、ご使用ください。

手動での時刻合わせ ……電波が受信できないとき、任意の日時に合わせるとき

ボタン操作により、手動で日時を合わせることができます。このときの時間精度は、平均月差 ±30 秒のクォーツ精度になります。

操作例に従って、西暦年、月、日、時刻(時、分)の順に設定します。



- 電波受信機能がONの場合、手動で時刻合わせをしても自動受信を行い、受信に成功すると日時を修正します。 **電波受信機能のON/OFF操作** 参照
- 約30秒間ボタン操作をしないと、表示されている内容に設定して時刻合わせを終わります。
- アラーム時刻またはアラームマークが点滅しているときは、時刻合わせボタンを押しても、切り替わりません。

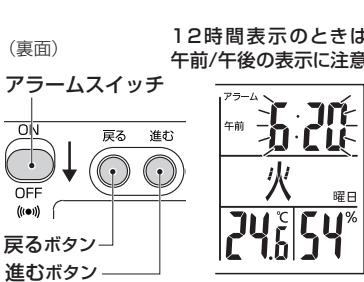
操作例. 2012年12月25日 午前10:37に合わせる

- ① 設定を開始する
西暦年が点滅するまで時刻合わせボタンを約2秒間押し続ける。
- ② 西暦年
進むまたは戻るボタンで2012年に合わせて、時刻合わせボタンを押す。
- ③ 月
進むまたは戻るボタンで12月に合わせて、時刻合わせボタンを押す。

- ④ 日
進むまたは戻るボタンで25日に合わせて、時刻合わせボタンを押す。
- ⑤ 時 (12時間表示のとき午前/午後の表示に注意)
進むまたは戻るボタンで10時に合わせて、時刻合わせボタンを押す。
- ⑥ 分(秒)
進むまたは戻るボタンで37分に合わせ、時刻合わせボタンを押す。→設定終了
時または分を合わせているときに、進むまたは戻るボタンを押すと00秒に設定されます。

2 アラーム機能を使う

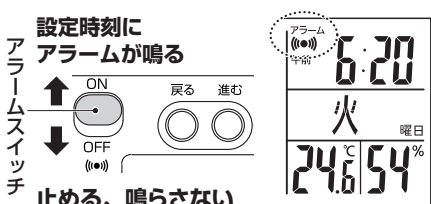
アラーム時刻を合わせる



- ①アラームスイッチをOFFにする
- ②進むまたは戻るボタンを押してすぐ離す
「アラーム」が点灯、アラーム時刻が点滅。
- ③進むまたは戻るボタンでアラーム時刻を合わせる
押してすぐ離すと1分単位に、押し続けると連続して変わります。
- ④約5秒間ボタン操作をしないと設定を終わる

アラームスイッチのON/OFF設定

アラームスイッチをONにすると常時アラームマークとアラーム時刻が表示されます。



モニターボタン
音量切替スイッチ
ベル音量の大/小を選択。

アラーム音の試聴 (モニターボタン)

モニターボタンを押すと約2分間アラームが鳴ります。途中で止めるには、再度モニターボタンを押してください。電波の受信中、アラーム状態、アラーム時刻、日時を設定しているときは使用できません。

アラームご使用上の注意

- アラームスイッチがONのままでは毎日アラームが鳴ります。
- 長期間使用しないとベルの鳴りが悪くなる場合があります。2～3か月に1回ベルを1分程度鳴らしてください。
- ベル音がご近所迷惑にならないように注意してください。

3 時刻表示形式の切り替え

12/24Hボタンを押すと時刻表示の形式が変わります。



次の状態のときは、表示の切り替えが出来ません。

- 電波の受信中 ●アラーム状態 ●アラーム時刻、日時の設定中。

4 表示面の照明

スヌーズボタンはライトボタンを兼ねています。ボタンを押すと表示面が約3秒間照明されます。

5 温度・湿度表示

- 本製品は、一般的な家庭やオフィスの室内用です。
- ▶直射日光の当たる場所や冷暖房器具、加湿器、除湿器などの近くを避けてください。
- ▶温室、プール、サウナ、浴室、冷蔵庫、車の中、屋外などでは使用しないでください。
- 空気がよく循環する所に設置してください。設置した所の高低によっても違いがでます。
- ⑥温度・湿度の厳密な管理、温度・湿度の証明や取引には使用できません。
- センサーが時計内部にあるため、すぐには反映しません。

測定範囲を超えたときの表示とその意味

- 温度 「HH.H」50℃より高温 「LLL」-9.9℃より低温
- 湿度 「HH」95%を超えている 「LL」20%未満
- 「--」測定不能 (温度が5～50℃の範囲外)

- ※設置する高さによっても温度・湿度が変わります。床暖房のない一般的な室内では、低い位置では温度は低く、湿度は高くなります。
- ※湿度は「空気のかたまり」として移動するため、同じ室内でも風通しのよいところと悪いところでは違いがでます。

電波時計について

電波時計とは

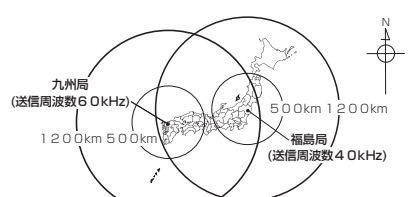
電波時計は、正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、自動的に表示時刻を修正し正確な時刻をお知らせする時計です。

標準電波とは

標準電波(JJY)は、日本標準時(JST)をお知らせするために、情報通信研究機構が運用している電波です。
※標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。標準電波送信所は、福島県の「福島局:おたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局:はがね山標準電波送信所」の2か所にあります。
※標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。(http://jij.nict.go.jp)

電波の受信範囲について

送信所から約1200km離れた場所でも受信可能です。ただし、受信範囲であっても電波障害(太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯(昼/夜)あるいは地形や建物の影響など)により、受信できないことがあります。



この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。

電波受信機能のON/OFF操作

受信機能 OFF (無効にして手動で時刻を合わせる)

リセットボタンを約1秒間隔で3回押してください。OFFになるとリセットボタンまたは強制受信ボタンを押してもが表示されなくなります。○日付と時刻は手動で合わせてください。

受信機能 ON (有効にして受信を開始する)

戻るボタンを押しながら、リセットボタンを押すとが表示され受信を開始します。その後に戻るボタンを離してください。

○標準電波を定期的に受信して標準時刻に合わせます。

※操作のタイミングによっては、ON/OFFが切り替わらないことがあります。このようなときには操作を繰り返してください。

強制受信とリセット操作

強制受信ボタン

場所を移動したときなどに、強制受信ボタンを押すと受信を開始します。受信に成功したときのみ日時を修正します。次のようなときは受信を開始しません。

- アラームが鳴っているときやスヌーズ中
- 手動で日時またはアラーム時刻を設定しているとき
- 受信機能がOFFになっているとき

リセットボタン

電池を入れた直後や静電気などにより誤作動したときに押します。リセット直後の日時は、2011年1月1日午前12:00、アラーム時刻は午前6:00になります。受信機能がONのときは、受信を開始します。